

ミャンマー指定募金

この指定募金は、ミャンマーの子どもと女性支援のために使われます。

※地図は参考のために掲載したもので、国境の法的地位について何らかの立場を示すものではありません。



ミャンマーでは、慢性的な栄養不良に苦しむ子どもの割合が高く、母親である女性たちの乳幼児に対する食習慣についても知識が十分に行き届いていません。

ミャンマーの栄養状況が良くない地域にいる子どもたちのために、医療従事者への栄養指導の研修や微量栄養素の配布、広報活動を行います。

- ※ 昨年関西中四国17生協ととりくみ、2020年6月に現地へ、15,921,200円をお届けしました。
- ※ 今回集まった募金から、おおさかパルコープは100万円、よどがわ市民生協は40万円をお送りします。

ユニセフ提供の微量栄養素をふりかけたお粥を食べる子ども
©UNICEF_NYHQ2012-2083_Dean

2018年度の募金（第4期）の活動・成果例（2019年7月～2020年6月）

- 35人の州政府栄養担当者が“乳幼児の栄養改善”についての研修を受けました。
- 4,700箱の栄養治療食を栄養不良に苦しむ子どものために調達しました。
- 39,000パックの微量栄養素パウダーを調達しました。
- 妊娠中の女性25,000人が、母体の栄養と乳幼児の栄養改善に関する質の高いカウンセリングを受ける予定です。（COVID19の影響で2020年下半年以降に延期）



医療従事者への研修
©UNICEF Myanmar/2019/Tin Aung



微量栄養素パウダー入りお粥を食べる子ども
©UNICEF Myanmar/2017/Khine Zar Mon



乳幼児の栄養改善のカウンセリングの様子
©UNICEF Myanmar/2017/Khine Zar Mon

指標	ミャンマー	日本
5歳未満児死亡率(2018年)	出生1,000人中46人	出生1,000人中2人
5歳未満児年間死亡数(2018年)	4万3,000人	2,000人
妊産婦死亡率(2017年)	10万人中250人	10万人中5人

ミャンマーの子どもと女性の現状
【参考資料：世界子供日書】